

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター

センター長 上ノ町 仁

## 検査内容変更のお知らせ

日頃より当検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、外部委託先の S R L より、下記の検査項目において検査内容変更の案内がありましたのでお知らせいたします。

該当する検査項目をご依頼いただく際はご注意ください。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ申し上げます。

### 記

#### ■実施日

**2020 年 9 月 1 日（火）ご依頼分より**

#### ■変更内容

項目名	変更点	基準値	検査方法	備考
<b>TBG定量</b>	基準値	14~31 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )	CLEIA	旧基準値： 15.9~35.6 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ ) 旧検査方法： RIA PEG法

## ● サイロキシン結合グロブリン (TBG)

Non-RIA法によるサイロキシン結合グロブリン (TBG) の測定を受託開始いたします。

サイロキシン結合グロブリン (Tyroxine Binding Globulin:TBG) は、肝臓で合成分泌される最も重要な甲状腺輸送ホルモン蛋白質です。TBGは、血中では、サイロキシン( $T_4$ )、トリヨードサイロニン ( $T_3$ ) の約70%と結合して存在し、血中半減期は約5日といわれています。TBG定量の測定は甲状腺機能及び甲状腺ホルモンの作用状態を知るために重要です。従来、主にRIA法にて測定されていたTBG定量を、このたびNon-RIA (CLEIA) にて測定開始いたします。

### ▼疾患との関連

甲状腺疾患

### ▼関連する主な検査項目

サイロキシン( $T_4$ )、抗サイログロブリン抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (抗TPO抗体)、トリヨードサイロニン摂取率( $T_3$ 摂取率)、トリヨードサイロニン ( $T_3$ )

### ▼検査要項

検査項目名	サイロキシン結合グロブリン (TBG)
検体量	血清 0.5 mL
容器	A 生化学用 (茶)
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	2~4 日
検査方法	CLEIA
基準値 (単位)	14~31 ( $\mu\text{g}/\text{mL}$ )
検査実施料	130点 (「D008」内分泌学的検査「16」)
判断料	144点 (生化学的検査 (II) 判断料)
備考	

### ▼ (参考) 従来法との比較

